

2007年 3月26日

各位

会社名 株式会社 阪急百貨店
 代表者名 代表取締役社長 新田 信昭
 (コード番号: 8242 東証・大証第1部)
 問合せ先 取締役専務執行役員 若林 純
 (TEL. 06-6361-1381)

特別利益の計上（個別決算）及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2007年（平成19年）3月期において、子会社投資損失引当金等の見直しを行い、これに伴って、個別決算において特別利益が発生することになりましたのでお知らせします。
 また、最近の業績動向も踏まえ、2006年（平成18年）10月31日に公表した業績予想を下記の通り修正しますので、お知らせします。

記

1. 当期の個別業績予想数値の修正〔2006年（平成18年）4月1日～2007年（平成19年）3月31日〕

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	287,000	10,300	11,300	6,800
今回修正予想 (B)	289,500	11,600	12,700	11,300
増減額 (B-A)	2,500	1,300	1,400	4,500
増減率 (%)	0.9%	12.6%	12.4%	66.2%
(ご参考) 前期実績〔2006年（平成18年）3月期〕	299,820	11,661	12,686	6,497

2. 当期の連結業績予想数値の修正〔2006年（平成18年）4月1日～2007年（平成19年）3月31日〕

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	393,000	13,300	14,500	8,100
今回修正予想 (B)	394,500	14,400	15,600	8,300
増減額 (B-A)	1,500	1,100	1,100	200
増減率 (%)	0.4%	8.3%	7.6%	2.5%
(ご参考) 前期実績〔2006年（平成18年）3月期〕	381,285	14,591	16,052	7,922

3. 修正の理由

従来、子会社への投資勘定について、金融商品会計に基づき、保守的に引当等の処理を行ってまいりました。今般、子会社における安定的な利益計上やそれに伴う純資産の回復に鑑み、引当過剰となっている株式会社阪急ショッピングセンター開発等に対する子会社投資損失引当金等を合計で約42億円取崩し、特別利益が発生します。

なお、本件は個別業績のみに影響し、連結決算では相殺消去されるため、連結業績への影響はありません。

以上